

# 大原草紙

第 81 号  
令和 4 年 10 月  
秋季号



## 私の大原ベストポジション

### 馬橋の淵

小出石町 原田憲三



小出石町には高野川と高谷川の二つ川があり、R367から旧街道に入って二つ目の橋「馬橋」の下に二つの川が合流するところがあります。少し大きい目の淵になっており、昔は多くの魚が泳ぎ、夏には子供たちの良き水泳場となっていました。ここで先輩たちに教わりながら泳ぎや、魚つりを覚えました。夏休みは毎日のようにここに通いました。覚えた事を私たちが後輩に伝える。子ども達の良き交流の場所となりました。後期高齢者になった今も、そのころの楽しい思い出が蘇ってきます。小学校三年生になった孫に話をしますと、刺激されたのか一年前から水泳教室に通うようになり、今では肉体的にも精神的にもひと回り大きくなったように見えます。私の昔話が孫に良い影響を与えたのかと思うと少しうれしく、又、ほこらしく思われます。

私の一番好きどころ「馬橋の淵」は今でも清々しい水音を立てながら流れています。これからも小出石町の子供達にとって素晴らしい思い出を残す所として大事にしていきたいと思いつつ、又、懐かしい思い出にひとりながら筆をおきます。

「大原をつなげる」具体的な事業活動のチーム作りが始動

活動基金に

ご寄付ありがとうございます

大原草紙前月号等で募金をお願いを致しましたところ、皆さまからご激励の声とともに、8月31日現在、20件の法人会員、個人会員さんから合計14万9千円のご寄付等をお寄せ頂きました。ありがとうございます。適切、効果的に使用するよう努めます。募金のお願いは引き続き行っております、当協会の役員にご連絡ください。

惟喬親王1126年御遠忌法要  
コロナ禍で今年も規模縮小して

例年10月10日、勝林院本堂で執り行ってきた御遠忌法要（主催、惟喬親王ゆかりの地の集い実行委員会）はコロナウイルスの感染拡大の傾向が未だに納まらないことから、7月31日関係者協議の結果、昨年に続き今年も勝林院輪番の藤井宏全寶泉院住職のお勤めだけと致しますのでご報告いたします。

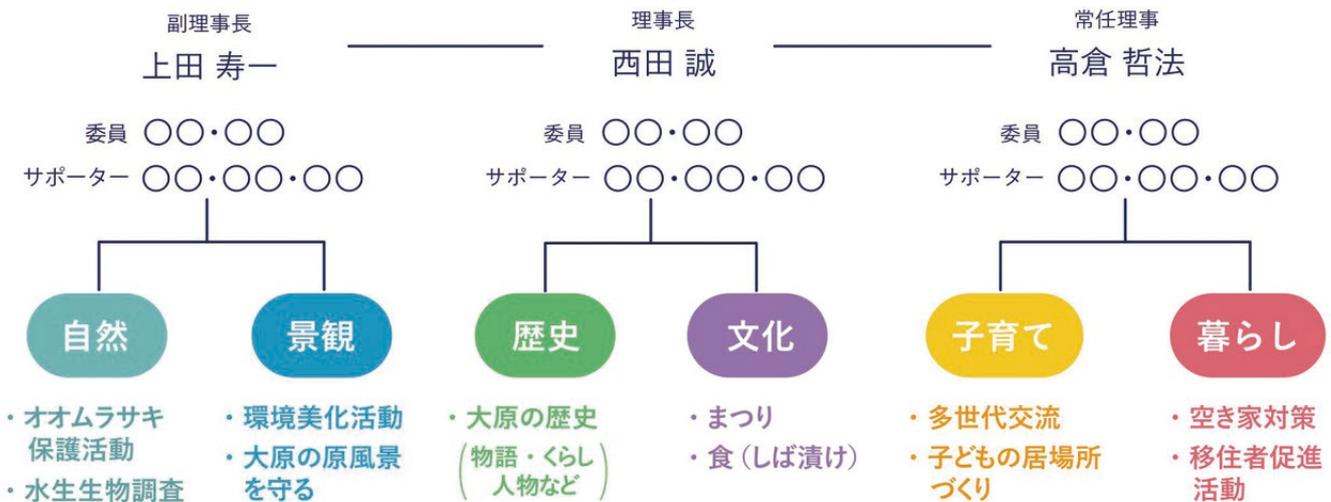
「大原をつなげる」事業チームが動き出しました。今後も準備出来次第順次報告します。

- ①活動項目 ②内容
- ③担当理事 ④委員・サポーター
- ①大原草紙編集部
- ②四季報の安定した発行基盤の整備
- ③西田 誠
- ④東恒男、高田潤一朗、前田明美、池田定男、安倍百合子
- ①声明を唱う会
- ②天台声明をみんなで唱う集いづくり
- ③西田 誠
- ④是恒千鶴子
- ①JA跡地利用計画
- ②跡地を文化発信拠点として効果的な使用の検討と運営チーム
- ③上田 寿一

- ①高齢者の居場所づくり
- ②関係諸団体と共に、高齢者の社会生活参加の場所づくり
- ③是恒千鶴子
- ④佐々木春美
- ①大原・町内探検
- ②各町の歴史文化を見て歩く
- ③西田 誠
- ④佐々木春美、上田 寿一
- ①従来活動の検証
- ②里協の設置した看板等の安全点検や従来事業の実態把握等
- ③西田 誠
- ①自然保護活動
- ②オオムラサキ・アサギマダラの保護活動支援と仲間づくり
- ③佐々木春美
- ①大原の古文書研究
- ②古文書の発掘と読み解き、発表
- ③上田 寿一

NPO法人 大原里づくり協会

vision : 大原をつなげる -connect-



検討事項

※主な活動の中には各種団体と重複する活動もあるので、役割の棲み分けを考える。

※事業内容の見直し ※里協が目指す将来像、visionの明確化・簡潔化 ※各分野のサポーターが決まったら委員を2人選出してもらう ※サポーター候補 里づくり協会現理事・顧問・幹事・等々

## 街の居場所が欲しい

勝林院町

是恒千鶴子



大原に住み始め12年を迎えます。ここは、土地も広く自然も豊かなので、畑仕事や散歩と町に比べると随分自由に動き回れます。しかし、人との交流は意識をしないと持てません。気が向いた時、「ひよっこり」と顔が出せ、なじみの人たちが集い、新しい出会いもあり、仲間が出来る場所。医療や介護についても気軽に相談できる人が居る。時には学習会やレクレーション、特別企画など、地域力が発揮される場所。高齢者サロンやオレンジサロン（認知症対応型サロン）なども併設されるといいな一と思えます。そんなサロン作りが出来たらいいな一と思っています。



大原の皆さんの  
特技や魅力が発揮  
される居場所を  
ご一緒に作りま  
せんか？

大原声明を唄う会（仮称）  
ただいま準備中!!

### 声明とは

昭和50年11月大原小学校  
創立百周年記念事業委員会発行  
大原百年史「魚山と声明」から抜粋

「声明」という語は、インドのサブダビッジャの漢訳（三蔵法師による）、バラモン僧の教養科目であった五明（声明・内明・因明・医明。工巧明の一つであり貧学・音韻の学問の事を指していた）。

インドから中国を経て日本に入ってきた仏教の儀式音楽は、「梵唄（ぼんぱい）」などと呼ばれていた。それが平安の頃から仏教の儀式音楽のことを声明と呼ぶようになったと考えられている。

平安朝に入り伝教大師（最澄）弘法大師（空海）が唐に渡って天台・真言二宗を伝え、日本仏教も新しい発展段階を迎えたのであるが、この時期に入ってきた唐朝の新仏教の儀式音楽が日本に現存する声明諸流の事実上の源泉であると言われている。なかでも慈覚大師円仁（七九四〜八六四）が遣唐使と共に唐にわたり十年余りの間各地を巡礼し多くの資料を伝来されたのである。慈覚大師伝来の声明は総本山延暦寺におい

て相承されていたのを、九代目の弟子寂源上人が長和三年（一〇一四）、声明の専門道場として、延暦寺別院大原寺勝林院を開いたのが大原魚山のはじまりである。

承徳元年（一〇九七）聖応大師良忍（融通念佛宗開祖）は比叡山から勝林院に魚山流梵唄を伝授。承徳二年に大原院を専門道場として開かれた。以後大原魚山は本家勝林院下院の部寶泉院、實光院、普賢院、理覚院他九坊ができ、本願来迎院上院の部として浄蓮華院、蓮成院、遮那院、善逝院、極楽院等五坊ができそれぞれ前を流れる呂川・律川にその韻を響かせることになり今に到ります。

また、声明は雅楽、琵琶、能、狂言、浄瑠璃などが国の古典芸能音楽や民謡、浪曲、子守唄、演歌など身近な音楽文化の源流と言われ、私たち日本人の音楽の「心のふるさと」ともいえます。

準備が出来ましたら「大原声明を唄う会」を立ち上げます。新型コロナウイルスなどで閉塞感の漂う今日、大原から話題提供を発信します。平安朝時代から伝わる天台声明を大原魚山のお坊さんに教えてもらい、CDで練習してみんなで唱和したいと思えます。

ご参加ください！

## 大原の道標 その一

大原古文書研究会  
上田 壽一



各町の辻などに建っている石造りの道標を調べてみた。長い風雪で判読不明のものもあるが、よく目にするものから調べてみた。

上野町「谷川茂次郎」

谷川 茂次郎

右 惟喬親王御墓参道

左 浄楽堂参道

昭和十三年八月 建立

石の道標は長く残るので、出来るだけその位置は変えないで欲しいと思っています。今回の道標に刻まれている谷川茂次郎氏は、新聞用紙運送業の先駆者として有名な方で、上野町谷川喜平衛の長男（元治元年〜昭和十四年）です。京都新聞社別荘は彼の旧家跡に建てられています。

彼は又、吉田山に「谷川住宅群」を建て京大の先生等が住まわれた様で、山頂には「茂庵」があり、今もカフェとして利用されています。

## 3年ぶり第54回 「大原大掃除」を実施



コロナ禍で中止されていたクリーン作戦が大原環境美化推進協議会の呼びかけで9月4日(日)感染対策のため出発式は各町リーダーだけ、清掃ポイントも各町内に設定し、作業中は三密を避けマスク着用で行われました。来迎院町は律川沿いを音無の滝まで、三千院小堀門主が参加で目をひきました。



## 大原消防分団の活動から



### 真夏の活動

自然災害多発期を前に消防団は「救急救命訓練」「ハイキングコースの安全点検」を実施していました。



### ■百井夏祭会場

### ■百井町―寂光院ハイキング道で



## 広告を 募集します

コロナ禍の中、里づくり協会の会計も逼迫してきました。紙上に広告面を有料で掲載し、大原草紙の発行費用をねん出したいと思います。ご商売の宣伝に御利用下さい。私はこう思う…といった意見広告にもご利用ください。(少し制限があります。)

詳しくは編集部西田までお尋ねください

090・4649・0633

## 募金のお願い

皆さまに活動基金を  
お願い致します。  
募金は当協会の役員へ  
ご連絡下さい。



# いま 京都大原学院で

## 京都大原学院の部活動

### ■ バドミントン部

7年生女子3名、8年生女子3名で活動を行っています。練習を引く張るしっかり者の8年生と、先輩を追いかけ頑張って練習する7年生で協力して日々、取り組んでいます。外部コーチとして保護者の八木さん・飛田さんも来てくださり技術面で指導して下さいています。コーチの指導を受け、また学院生自身の地道な努力もあり、少しずつレベルアップしています。春季大会では、他校の上級生を破り、見事4名が個人戦で予選を勝ち抜いて全市大会に出場することができました。また、7年生も加わって、夏季大会からは女子団体戦にも出場しています。夏季大会では強豪校との試合を経験し、試合で勝つことの厳しさを実感し、他校の選手から学ぶことができた。秋季大会に向けて、力を合わせさらなるレベルアップを目指して頑張っていきたいです。



### ■ ソフトテニス部

部員数は少ないものの、大人数校に負けない元気で楽しい充実した活動を目指して日々練習に取り組んでいます。また部員たちと地域の方の毎日の整備のおかげで他校に負けられない素晴らしいテニスコートがあります。このコートと部員たちの一生懸命さを目当てに、わざわざ遠方から練習試合に来てくれる学校もあります。



今年度夏の公式戦では、男女とも全ペアがブロック予選を通過!! 女子は一位通過で予選を突破しました。全市大会では9年生男子ペアが京都市で優勝!! さらに京都府下大会でもベスト8に入り、京都府代表として近畿大会に出場しました。引き続き、新チームでも高いレベルを目指し頑張ります。



### ■ 文化部

文化部は、9年生の二人が引退し、今は、部員募集中です。一期は、月、火、水、金の週四日活動していました。活動内容は、音楽に関するものとして、ギター演奏、美術に関するものとして、絵画作品などの制作、家庭科に関するものとして、お菓子作りなどに取り組みました。文化部では、このように多岐にわたる充実した部活動を行います。部員、募集中!



### 【部員数】

※5・6年生は「合同部活動」として週1回活動

文化	ソフトテニス		バドミントン		学年
	女子	男子	女子	男子	
女子	-	-	1	3	7
男子	-	-	1	2	8
女子	-	-	4	6	※5・6
男子	-	-	-	-	-



れんさいマンガ  
\* 80 \*  
アズマツネオ



### 孫七農産



■投稿者：横山良平

井出町に住んでおります横山良平と申します。縁あって大原へ引越して来て今年で9年目になりました。読者の方の中には私の事を消防やPTA、おやじの会、祭りの神事などで見知って下さっている方もいるかもしれませ

ん。昨年からは「孫七農産」という屋号で自家栽培のもち米を使った餅・おこわ・赤飯の製造をしています。屋号の「孫七」というのは現在の自宅の家号で、縁あってこの家と巡り会えたことへの感謝と先人への敬意を込め、屋号として拝借させていただきました。この名に恥じぬ様、亀の歩みながら精進して参る所存ですのでどうぞこれからもご指導のほどよろしくお願いいたします。また、引越してきた当初から地域の方や農家の先輩方には家族共々あたたかい目で見守っていただき、おかげさまでいつも安心して仕事や子育てをしていくことができました。この場を借りて感謝を申し上げます。

孫七農産 井出町59  
070・6505・2265

### デジタルカメラ ご寄付のお願い



■投稿者：大原インター  
ナショナル・クラブハウス

当クラブハウスでは、6月と8月に子どものための写真ワークショップ Kids Photo Club を開催しました。写真撮影の基本を英語と日本語で説明した後、参加者がひとり一台デジタルカメラを持って各回のテーマに沿って撮影。素敵な作品がたくさん生まれました。この活動を今後も継続するため、クラブハウスの備品としてデジタルカメラを揃えたいと考えております（過去2回は KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭よりお借りしました）。もしご自宅にお使いになら

ていないデジタルカメラがありましたら、ぜひご寄付いただけませんでしょうか。バッテリーが充電できて使えるものであれば、古くても問題ありません。お譲りいただける場合は左記メールへご連絡下さい。

ohara.ich@gmail.com

■大原インターナショナル

・クラブハウスとは

京都大原学院の学院生向けに英語習得や外国文化紹介を目的とした様々な活動を行う場。現在は保護者中心のボランティア・スタッフを主体に2022年6月から木曜日放課後に不定期で開設中。場所は京都大原学院内の外国語活動専用教室。

### 表紙の横顔

《編集部から》

原田憲三さんのプロフィール

サラリーマン生活のかたわら、消防団員生活も半世紀近くなる。消防分団長当時に見た災害時のピリッとした姿勢と、平常のゆったりしたふところの深い姿が印象に残る。大病をのりこえた今、孫との語らいが楽しみの一と時と。

### 表紙写真余話 編集部

久しぶりに馬橋の淵に降り立ってみると若い男性が幼い男の子と水遊び中。「大原の方ですか」声を掛けると「奈良から来ました。山科に居たころ、手つかずの自然があるここを偶然見つけました」「では、今日は奈良から」「ハイ、この子にも見せたくて」



第80号大原草紙の「御大典記念大原村史」記事中の写真説明で「社長中辻澤次郎」は「村長中辻澤次郎」の誤りです。お詫びして訂正いたします。（編集部）